



蔵本保健室(平成25年3月末まで)



蔵本保健室 移転のお知らせと リニューアル

保健管理センター 保健師
早瀬 純子 (はやぶちじゅんこ)



蔵本保健室は蔵本会館の耐震改修工事のため、平成24年9月から平成25年3月まで閉館することとなりました。その期間保健室は蔵本図書館2階の南学習室で業務を行うことになりました。移転中も体調不良時の休養や応急処置、健康相談には対応しており、体脂肪計、血圧計、視力計等の測定機器も使用できます。心の相談については別に相談室を設けて対応していますので予約の上利用をお願いいたします。しかし室内には水道設備がないため、ケガのある場合にはマスクをしていただくなど周囲への配慮をお願いする必要がありますがご了承ください。

平成25年4月には耐震改修工事が終了し、保健室がリニューアルオープンします。改修は、蔵本地区の学生・教職員の方々が健康診断や体調不良時にできるだけ快適に使用できるよう考えました。健康診断の尿検査ではトイレに設置した窓口から尿コップを検査室に提出する様式とし、プライバシーに配慮しました。休養室も個室となりますのでより落ち着いた状態で休むことができます。またケガの処置が簡便に行えるような洗い場も設けました。さらに蔵本会館にエレベーターも設置されるので車椅子等で利用も簡単にできるようなり、バリアフリー化が図られることになりました。

今後も診療・相談体制の充実を図ると共に、誰もが気軽に利用できるような温かい雰囲気のある保健室を目指して努力して行きたいと思っています。

日本での留学生生活

総合科学教育部 地域科学専攻 博士前期課程 1年

Chimeddorj Tsolmon [モンゴル]
(チミドルジ ツォルモン)

私は2011年8月12日、ちょうど阿波踊りの日に徳島へ来ました。そのとき、本当に驚きました。徳島はとてにぎやかな町だと思いました。でも、2、3日後、徳島は本来の姿に戻りました。徳島は静かな町で、人々の生活ペースは穏やかです。私はこの徳島のライフスタイルが大好きです。

私が初めに感じた日本に対する印象は、日本人が非常に丁寧だということです。日本にいるとお辞儀を学ばなければなりません。最初はこの習慣が少し難しかったです。ですが、今はもう慣れました。でも、モンゴルに帰国したときも、時々お辞儀をしてしまいます。

日本に対するもう一つの印象は、気候が独特なこと。まず、夏はとて蒸し暑く、サウナのようなです。雨もたくさん降り、台風もここで初めて体験しました。モンゴルと気候が違うので、これまで見たことがない様々な昆虫を見ました。一番怖かったのは大きなゴキブリとクモです。クモの大きさが人間の拳と同じくらいで驚きました。でも、日本は先進国なので、様々な防虫剤がどこでも売られています。

徳島で一番好きな季節は秋です。気温がちょうど良く、涼しい風が吹き、自転車に乗って大学へ行くのが非常に快適です。私はモンゴル出身ですが、日本の冬はとて寒いと思います。モンゴルほど気温は低くないのですが、日本は島なので多分寒さが違うのだと思います。外では大丈夫ですが、家やビルの中に暖房器具がないところが、非常に寒く感じます。冬、徳島では灯油のストーブを使っている部屋を暖かくします。また、「こたつ」という暖房機能のついた大きなテーブルがあり、テーブルに布団をかぶせて中を暖かくします。

春は時々強い風が吹きます。桜が咲いて、日本全国で花見をするのができます。初めて桜を見ましたが、二週間ほど開花するきれいなピンク色の花がとてきれいでした。

私は今、徳島大学大学院総合科学教育部で地域科学を専攻し、環境教育についての研究をしています。モンゴルと日本の大学の間で連携を取りながらモンゴルの教育改革に取り組む、特にIT技術をつかった教育をモンゴルで普及させることができたかと考えています。日本とモンゴルの教育の状況を徳島大学で研究できるのは自

分にとって大きなチャンスであり、将来の仕事にも生かせると考えています。

徳島大学とモンゴル健康科学大学の間には交流協定があり、今年20人ほどのモンゴルの学生が徳島大学大学院で勉強をしています。去年初めて日本へ来たとき、先輩方がいろいろ手伝ってくれて、本当にうれしかったです。徳島大学にいてすべてのモンゴルの学生を代表して、徳島大学に感謝の意を表したいと思っています。どうもありがとうございました。これからも、私たちモンゴルの学生をよろしくお願いたします。

What's happening?



留学生
滞在記



TIA(徳島市国際交流協会)の留学生連で阿波おどり



モンゴル人留学生とその家族